

分類	景観類型	特性	課題	求められる対応	基本方針	代表的な事例
自・歴・市・生	① 眺望景観	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりの原点となるまちへの愛着を育むもの</li> <li>・海岸線から明石海峡大橋や播磨灘などを望む眺望景観は明石を代表する景観</li> <li>・「わがまちあかし十景」に多く選ばれている。</li> </ul>	記載なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明石の重要な景観として保全、育成するための眺望スペースの整備や視認性の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①市民が親しむことができる眺望点の整備</li> <li>②眺望点からの景観の保全</li> </ul>	 <p>播磨サイクリングロードからの眺望</p>  <p>住吉公園からの眺望</p>  <p>ふれあいプラザあかし西からの眺望</p>  <p>天文科学館からの眺望</p>  <p>明石駅からの眺望</p>  <p>銀座通りからの眺望</p>
	② 田園ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民にうるおいとやすらぎを与える緑豊かな貴重な自然景観</li> <li>・広大な田畑とかんがい用のため池が点在</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・田園、ため池の宅地化により、住宅や商業施設などが田園の中に見られるようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市の中における貴重な緑地空間として保全</li> <li>・地区内の建築物等には調和を求める。</li> <li>・自然に親しむことのできる空間の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①田園・ため池環境の保全</li> <li>②調和のとれた田園・ため池空間の形成</li> <li>③田園・ため池空間の有効活用</li> </ul>	<p>○大久保から二見にかけての調整区域</p>  <p>大久保～魚住の田園地帯</p>  <p>大久保北部のため池</p>
	③ 公園・緑地ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地に隣接したまとまりのある緑地</li> <li>・自然を感じることができ、うるおいとやすらぎを与えてくれる貴重な自然景観</li> </ul>	記載なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水と緑の豊かな空間の保全に努める。</li> <li>・植栽などによる修景をさらにに行い、親しむことのできる空間の創出</li> <li>・これらを核として、周辺での道路緑化や緑道整備などを推進し、市街地における緑のネットワークの形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①公園・緑地の保全・育成</li> <li>②親しむことのできる公園・緑地環境の整備</li> <li>③緑のネットワークの形成</li> </ul>	<p>*「明石の緑の5大拠点」</p>  <p>大蔵海岸</p>  <p>明石公園</p>  <p>石ヶ谷公園</p>  <p>金ヶ崎公園</p>  <p>明石海浜公園</p>  <p>③王子公園周辺</p>
	④ 海浜ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東西約16kmにわたる海岸線は、大阪湾から播磨灘にかけて残された数少ない貴重な自然景観</li> <li>・明石のシンボル空間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海岸部の周辺では、中高層建築物の建設等により、海との一体感が失われつつあり、海への眺望や海岸部からまちへの眺望保全が課題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(海岸部)</li> <li>・自然海浜環境の保全、育成</li> <li>・防災施設(防波堤、護岸など)についても自然と調和したものにすること</li> <li>(周辺)</li> <li>・建築物等の高さを抑えるなど、海浜景観との調和による一体的な景観形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①明石らしい自然海浜環境の保全・育成</li> <li>②海浜防災施設などへの景観上の配慮</li> <li>③海浜環境と調和した周辺空間の形成</li> </ul>	 <p>林崎～松江海岸</p>  <p>江井島海岸</p>  <p>大蔵海岸</p>

分類	景観類型	特性	課題	求められる対応	基本方針	代表的な事例
歴	⑤ 歴史ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>長い時間の中で培われた、その土地の個性を物語る景観</li> <li>明石は古くから西国街道や浜街道が通る宿場町・城下町として発展</li> <li>由緒ある社寺、古い酒蔵や情緒のある民家など伝統的建築物が市内に点在</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>旧街道沿いに分布していた歴史的なまちなみが、市街化の進展や建築物の老朽化による建て替えなどから消失、更新（往時の面影を残しているまちなみはごくわずか）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちなみや伝統的建築物などを明石固有の資源として位置づけた適切な保全、活用</li> <li>歴史の積み重ねにより培われてきた五感で感じるもの（雰囲気）を大切なものと捉え、守り育てること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①伝統的まちなみや建築物などの保全</li> <li>②伝統的建築物などの活用</li> <li>③歴史的雰囲気大切にされた住環境の保全</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>西国街道や浜街道が通る宿場町や城下町 <ul style="list-style-type: none"> <li> 大蔵地区</li> <li> 八木地区</li> <li> 西岡地区</li> </ul> </li> <li>歴史ある寺社や酒蔵・民家などが多く残る地区 <ul style="list-style-type: none"> <li> 江井島地区</li> <li> 東二見地区</li> </ul> </li> </ul>
	⑥ 住宅ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地景観の基本となるもの</li> <li>それぞれの地域の住宅形式や立地環境により特徴づけられている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宅地の小規模化、小規模マンションの開発による建物まわりの緑やオープンスペースの減少から、ゆとりやうるおいが欠乏</li> <li>周辺の環境との不調和が発生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民の幅広いまちづくりの一環として、引き続き良好な住宅地の景観を保全、育成</li> <li>住宅開発が進む地区においては、地区計画など計画的手法の活用、建築協定、緑地協定の活用、生垣緑化の推進など、調和のとれた快適でうるおいのある住宅地景観への誘導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①良好な住宅環境の保全・育成</li> <li>②緑豊かでうるおいのある住宅環境の整備</li> <li>③周辺との連続性に配慮した住宅環境の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li> 太寺地区</li> <li> 錦が丘</li> <li> カスケディアヒルズ</li> </ul>
	⑦ 商業ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>商業、業務施設の集積によるにぎわいが特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個性を強調するあまり雑然としたまちなみになる可能性あり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の玄関口、あるいは、生活文化核として、快適に過ごすことができること</li> <li>地域の特性を生かした個性とにぎわいのあるまちなみの形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①にぎわいのある商業地空間の形成</li> <li>②魅力あふれる商業地空間の形成</li> <li>③快適でうるおいのある商業地空間の形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の玄関口であるJR山陽明石駅周辺 <ul style="list-style-type: none"> <li></li> </ul> </li> <li>市内唯一の景観形成地区である大久保駅南地区 <ul style="list-style-type: none"> <li></li> </ul> </li> <li>西二見駅前地区 <ul style="list-style-type: none"> <li></li> </ul> </li> </ul>
⑧ 工業ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>緑がなく殺伐とした工場が建ち並びイメージがある一方、広い敷地に緑を配し、すっきりとしたデザインの工場で形成された街のイメージもあり、景観への意識があらわれやすい</li> <li>大規模工場は規模の大きさから明石の都市景観のひとつの特徴となっており同時に景観に与える影響が大きい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>機能優先のため、無機質な建築物群が建ち並び、うるおいやゆとりに欠けるものもあり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>緩衝緑地の設定、工場緑化などをさらに図った緑地空間の適切な配置</li> <li>工業施設のデザインの質の向上</li> <li>周辺環境と調和した快適な生産環境の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ゆとりとうるおいのある工業地空間の形成</li> <li>②周辺環境と調和した工業地空間の形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>JR西明石駅南 <ul style="list-style-type: none"> <li></li> </ul> </li> <li>大久保から魚住にかけての国道2号線沿い <ul style="list-style-type: none"> <li></li> </ul> </li> <li>南二見人工島 <ul style="list-style-type: none"> <li></li> </ul> </li> </ul>	

分類	景観類型	特性	課題	求められる対応	基本方針	代表的な事例
自・歴・市	⑨ 主要な道路軸	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市間幹線道路やそれを補完する幹線道路である「主要な道路軸」</li> <li>市街地の多くがその沿道で形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>街路樹によりうるおいのある景観を形成している道路がある一方で統一感のない沿道の建築物や無秩序な広告物により雑然として、まとまりのないものも見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>沿道と一体となった快適な空間の形成</li> <li>軸を意識した連続性や統一性の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①沿道との調和に配慮した道路空間の形成</li> <li>②都市空間の骨格をなす軸の形成</li> <li>③安全で快適な道路空間の形成</li> </ul>	 国道2号  国道250号  県道明石高砂線
	⑩ 河川軸	<ul style="list-style-type: none"> <li>線の景観であり、見通しが良く、景観形成への取り組みが結果としてあらわれやすい要素</li> <li>市街地における貴重な水際空間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>緑が少なく親水性が低いため、まちと河川が分離したような状況にある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全性を確保し、市街地の貴重な憩いの場として河川敷を緑豊かに整備</li> <li>うるおいのある親水性の高い空間整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①緑豊かな河川環境の整備</li> <li>②市民の憩いの場となる河川環境の整備</li> <li>③親水性豊かな河川環境の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5つの河川</li> <li> 朝霧川</li> <li> 明石川</li> <li> 谷八木川</li> <li> 赤根川</li> <li> 瀬戸川</li> </ul>
	⑪ まちを彩る道	<ul style="list-style-type: none"> <li>歩行者が主人公である遊歩道や海岸に至る小径など、市民が普段から利用し親しんでいる道</li> <li>良さが見過ごされがちであるがまちの景観を構成している重要な要素</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住み、訪れ、また、離れてみて初めてその良さに気が付くもの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>わがまち意識の醸成の中でその良さを再認識し、守り、育てること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①うるおいのある道路空間の保全・育成</li> <li>②うるおいのある道路空間のネットワークの形成</li> </ul>	 「時の道」  大蔵海岸への道  西明石緑道  「ゆりのき通」  高丘地区の修景された歩道  二見港への道

分類	景観類型	特性	課題	求められる対応	基本方針	代表的な事例
自・歴・市	⑫ シンボル ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史性や美しさから地域を象徴し、市民の誇りとなる景観要素</li> <li>・明石公園内の明石城や天文科学館など、明石を感じさせる貴重な景観資源が存在</li> </ul>	記載なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保全</li> <li>・視認性の確保</li> <li>・周辺部との調和や夜間景観の演出など見え方に対する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①シンボル景観の保全</li> <li>②シンボル景観の視認性の確保</li> </ul>	 明石城  天文科学館  住吉神社  西部市民センター  二見市民センター  東二見橋
	⑬ まちかど ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの人が行き交い、人が集まり出会う場所であり、都市景観形成の一つの拠点</li> <li>・中心市街地の主要道路の交差点や駅前広場など</li> </ul>	記載なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開放性や広がり演出、シンボル化、地域性、歴史性などの表現</li> <li>・まちかどが持つ特性を理解し、まちの顔となる空間の形成</li> <li>・周辺の建築物等について、周辺との調和に配慮した一体的な整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①まちを印象づけるまちかどの形成</li> <li>②にぎわいとるおいのあるまちかど空間の形成</li> </ul>	 国道2号と駅前線の交差点  国道2号と明淡線の交差点  JR魚住駅広場など駅前広場
生	⑭ 歴史 ポイント ・ 憩いの ポイント	<p>【歴史ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちに溶け込んだ伝統的建造物や道標など、地域の歴史や文化を今に伝えるもので、まちの誇りやまちへの愛着を生むもの</li> </ul> <p>【憩いのポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒューマンスケールの身近な景観で、まちのアクセントとなっている魅力的な景観</li> </ul>	記載なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・風景の中の景観資源に気がつき、認識し、保全、育成につなげていくこと</li> <li>・それらをつなぐことで点から線、線から面へと広げること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①身近な憩いの空間の保全</li> <li>②うるおいのある生活景観の形成</li> </ul>	<p>【歴史ポイント】 文化財、寺社、伝統的民家など</p>  中崎公会堂  酒蔵  道標 <p>【憩いのポイント】 都市公園、ポケットパーク、広場、モニュメントなど</p>  明石港の旧灯台  明石西公園  横河公園

分類：自然＝自、歴史＝歴、市街地＝市、生活＝生